

# NOSAI おおさか

2022  
夏号  
vol.19



- 第6回通常総代会開催
- 新役員を紹介
- 収入保険へ加入申請受付中へ
- 園芸施設共済へ台風シーズン到来へ

  
備えの種を  
まこう。

NOSAI おおさか  
vol.19 2022 夏号

発行  
大阪府農業共済組合

本所  
〒540-0011  
大阪市中央区農人橋2丁目1番33号  
大阪信連事務センター3階  
TEL (06) 6941-8736  
FAX (06) 6941-8737  
E-mail : honsyo@nosai-osaka.com

北部支所  
〒567-0032  
茨木市西駅前町10番20号  
TEL (072) 631-7737  
FAX (072) 631-7738  
E-mail : hokubu@nosai-osaka.com

南部支所  
〒594-1122  
和泉市北田中町215番地  
TEL (0725) 92-3313  
FAX (0725) 92-3343  
E-mail : nanbu@nosai-osaka.com



問題

第6回通常総代会で選任された  
新役員の人数は何人でしょうか？



答え 「〇〇人」

はがきにクイズの答えと郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号・広報紙に関する  
ご意見ご感想を記入のうえ、ご応募ください。正解者の中から抽選で10名の方に  
QUOカード(千円分)を進呈します。

応募方法

63 5400011

大阪市中央区農人橋  
2丁目1番33号  
大阪信連事務センター3階  
NOSAI大阪行

締切  
令和4年  
9月30日  
(当日消印有効)

- ①クイズの答え
- ②郵便番号・住所
- ③氏名
- ④年齢
- ⑤電話番号
- ⑥広報紙に関するご意見ご感想など

※当選者の発表は賞品の  
発送をもって代えさせて  
いただきます。

vol.17の答え：  
1,000円

vol.17では、162通のご応募をいただき、ありがとうございました。  
厳正に抽選し、10名の方に賞品を進呈いたしました。

※応募はがきにご記入いただいた個人情報は賞品の発送以外に使用いたしません。



このQRコードを読み取っていただくとNOSAI大阪のホームページにアクセスできます。  
HP : <http://www.nosai-osaka.com/>



# 総代会提出議案

## 第1号議案 令和3年度事業報告書、財産目録、貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分案並びに不足金処理案の承認について

令和3年度事業実績		
総共済金額	1,734億4,660万円	
総支払共済金	1億2,971万円	…詳しくは4ページ参照

## 第2号議案 令和4年度事業計画書及び業務収支予算書の承認について

令和4年度事業計画		
総共済金額	1,764億6,530万円	
令和4年度業務収支予算額	3億9,807万円	…詳しくは5ページ参照

## 第3号議案 令和4年度事務費賦課金額及び徴収方法の承認について

賦課金額	7,586万円
------	---------

## 第4号議案 役員報酬並びに顧問料、損害評価会委員、共済支部長及び資金管理委員会委員の報酬について

役員報酬	23人	870万円以内		
損害評価会委員手当	61人	122万円以内	弁護士顧問料	1人 66万円以内
資金管理委員報酬	1人	6万円以内	支部長報酬	1,819人 1,492万円以内

## 第5号議案 借入金の方法、利息の利率及び償還方法について

借入金額	令和4年度において支払うべき共済金等の不足額
------	------------------------

## 第6号議案 余裕金の運用に係る預入先について

府内農業協同組合、都市銀行等含め17金融機関

## 第7号議案 特別積立金の取崩しについて

損害防止費分（農作物、果樹）	430万円以内
----------------	---------

## 第8号議案 役員選任について

理事 20人、監事 3人  
任期：令和4年6月1日から令和7年5月31日

## 第9号議案 損害評価会委員の補欠選任について

学識経験者 2名

## 第10号議案 事業規定の一部改正について

家畜共済の損害発生通知に添付する書類について、肉豚等に加え、牛、馬の死亡事故等においても画像等の電磁的記録で作成されているもので可能とすることなど、獣医師職員の現地確認が簡素化となったため改正します。

## 第11号議案 実施体制の改善計画について

組合が農家のために将来にわたって安定的に事業運営を行える実施体制とするため、現状の課題等を整理し、令和7年度を目標年次として改善計画を策定します。

## 第12号議案 農業共済事業のニーズ調査について

回答件数 107件

### 附帯決議案

本総代会の議決事項について、行政庁の認可等のために修正する必要が生じた場合には、決議の趣旨に反しない範囲において、字句の修正の権限を組合長に一任する。

# 第6回通常総代会開催 全12議案・附帯決議案を可決承認



閉会のあいさつをする  
文能 啓志副組合長



議長に選出された  
堺市の樋上 正己総代



閉会のあいさつをする  
石崎 勇組合長

### 総代会とは

組合員の代表である総代が、理事から提出された議案を審議し、組合運営の方針を決める最高意思決定機関です。

令和4年5月23日、大阪市中央公会堂で第6回通常総代会を開催しました。  
当日は、総代定数123人のうち、98人（書面出席含む）の出席と関係機関から多数の来賓を迎えました。  
石崎勇組合長のあいさつに続き、来賓の大阪府検査指導課の岡本課長、池田市農政課の萩原課長より祝辞をいただき、議事に入りました。  
議長には堺市の樋上正己総代が選出され、令和3年度事業実績や令和4年度事業計画・業務収支予算など、提出された12議案と附帯決議案は、慎重なる審議を経て、全て原案通り可決承認されました。  
今年度も農業経営の安定と発展のために、役員一丸となって取り組んでまいります。



# 令和4年度 事業計画

引受計画 総額 1,764億6,530万円 (総共済金額)



## 農作物共済

●引受面積	300,300 a
●共済金額	2,260,460千円
●農家負担掛金	785千円



## 家畜共済

●引受頭数 死亡廃用共済	1,420頭
疾病傷害共済	890頭
●共済金額	433,443千円
●農家負担掛金	21,283千円



## 果樹共済 (令和5年産)

●引受面積	3,120 a
●共済金額	66,478千円
●農家負担掛金	682千円



## 園芸施設共済

●引受棟数	3,635棟
●共済金額	5,285,720千円
●農家負担掛金	29,313千円



## 建物共済

●引受棟数	18,736棟
●共済金額	167,253,600千円
●農家負担掛金	155,389千円



## 農機具損害共済

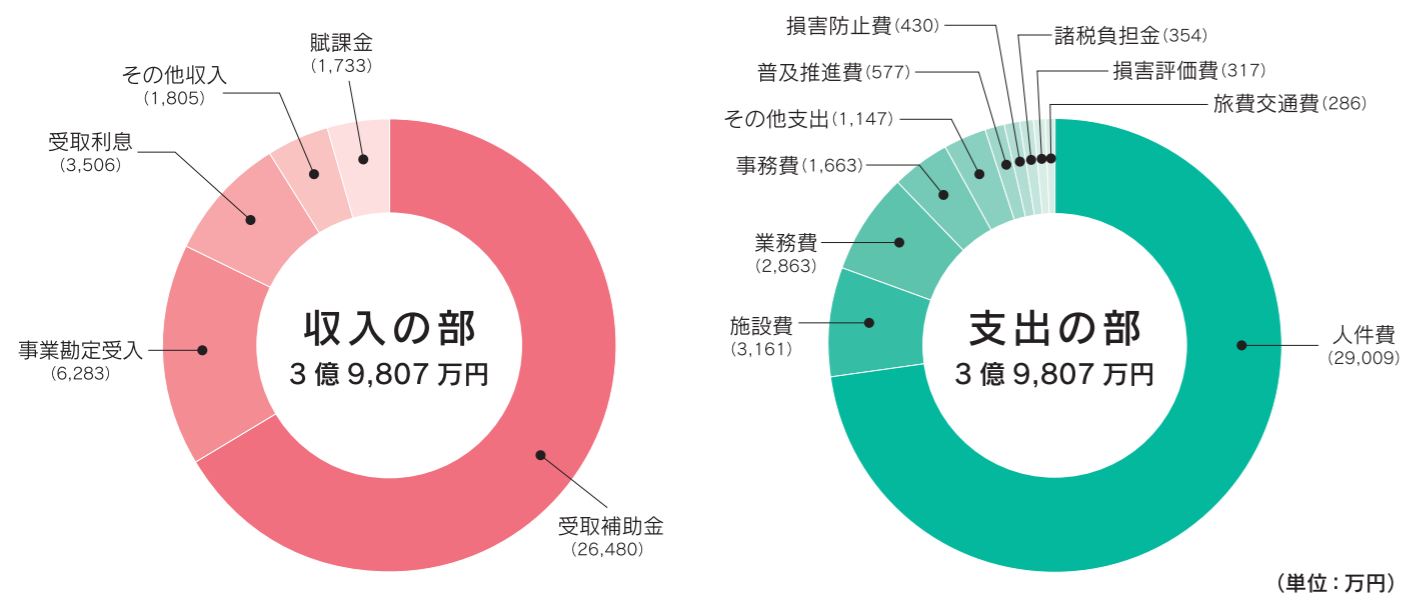
●引受台数	535台
●共済金額	1,155,600千円
●農家負担掛金	5,778千円



## 保管中農産物 補償共済

●加入口数	10口
●共済金額	10,000千円
●農家負担掛金	25千円

# 令和4年度 業務収支予算



# 令和3年度 事業実績報告

引受実績 総額 1,734億4,660万円 (総共済金額)



## 農作物共済

●引受面積	272,222.6 a
●共済金額	1,713,672千円
●主な共済事故	虫害、獣害、病害、火災



## 家畜共済

●引受頭数 死亡廃用共済	1,347頭
疾病傷害共済	812頭
●共済金額	376,998千円
●主な共済事故	死亡廃用共済: 泌乳器系、運動器系など 疾病病傷共済: 生殖器系、消化器系など



## 果樹共済 (令和4年産)

●引受面積	2,933.2 a
●共済金額	61,860千円
●主な共済事故	病害、虫害



## 園芸施設共済

●引受棟数	3,235棟
●共済金額	5,062,943千円
●主な共済事故	施設: 台風、 低気圧の通過など 施設内作物: 病害



## 建物共済

●引受棟数	18,536棟
●共済金額	165,156,040千円
●主な共済事故	強風・豪雨、 外部からの物体の 落下など



## 農機具損害共済

●引受台数	495台
●共済金額	1,071,090千円
●主な共済事故	接触、 異物の巻き込みなど



## 保管中農産物 補償共済

●加入口数	4口
●共済金額	4,000千円
●主な共済事故	なし

## 令和3年度の農家負担掛金と支払共済金

共済事業名	農家負担掛金(円) (納めていただいた金額)	支払共済金(円) (お支払いした金額)
農作物共済	303,583	3,390,016
家畜共済	19,405,736	50,088,861
果樹共済	783,444	466,820
園芸施設共済	20,432,357	15,119,883
建物共済	151,802,369	58,102,345
農機具損害共済	5,335,450	2,540,858
保管中農産物補償共済	10,000	0
合計	198,072,939	129,708,783



# 組合長就任挨拶



組合長理事 石崎 勇

組合員の皆さまには、日頃より農業保険事業の運営に格別のご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

今期も引き続き組合長理事という大役を仰せつかりました。私にとつて、身に余るお役目ではございますが、誠心誠意この重責を務めさせていただく所存でございます。

さて、農業は予期せぬ事象によって大きく左右されます。平成30年6月の大阪府北部地震・同年9月の台風第21号がもたらした甚大な被害を始め、令和2年産水稻のウンカによる大被害

など、皆さまの記憶にも新しいことと存じます。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により、大幅な販売収入減少に見舞われた農業者もおられます。このような事態に対し、当組合は、収入保険による補填及び共済金の早期支払い、さらにはつなぎ融資による迅速な資金対応などに取り組んで参りました。

農業保険は、農業経営のセーフティネットとして基本的な役割を果たしております。当組合といたしましては、大阪の特色ある農業をけん引されている農業者がリスクに備えていただくよう、これまで以上に、行政及び関係機関と連携を図りつつ、農業者の経営方針に沿った「農業保険」を提案し、その普及に役職員一丸となって取り組んで参る所存でございます。

今後とも組合員の皆さまのご期待に沿えますよう努めて参りますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

# 新役員紹介

第6回通常総代会において23名の役員が選任され、新たな役員体制で組合運営に取り組みこととなりました。

また、同日に開催された役員会で、組合長に石崎勇氏、副組合長に文能啓志氏、専務理事に高橋修氏、代表監事に池田正治氏が互選されました。

(任期)令和4年6月1日から3年間

## 理事

組合の執行機関としての役割を担っています。



副組合長理事 文能 啓志 (柏原市)



組合長理事 石崎 勇 (松原市)



理事 半田 益宏 (豊中市)



理事 橋本 勝治 (摂津市)



理事 谷山 正昭 (茨木市)



理事 阪口 和義 (高槻市)



専務理事 高橋 修 (学識経験)



理事 橋本 征吾 (堺市)



理事 平田 猛 (大阪市)



理事 岡本 淳一 (枚方市)



理事 東山 幸史 (四條畷市)



理事 西口 誠一 (守口市)



理事 松藤 茂 (熊取町)



理事 増尾 和男 (阪南市)



理事 川端 文成 (貝塚市)



理事 山千代 重榮 (和泉市)



理事 吉田 一之 (堺市)



理事 松井 元治 (太子町)



理事 林 静雄 (大阪狭山市)



理事 仲谷 正幸 (富田林市)

## 監事

組合の業務の執行状況や財産状況を監査します。



監事 北庄司 博文 (能勢町)



監事 福西 正明 (学識経験)



代表監事 池田 正治 (学識経験)



加入者に聞いた!

# 私が収入保険を選んだ理由

- **幅広い補償で心強いです!**  
収入保険に加入した理由は、病気やけがで農作業できなくなった場合や、市場価格の低下など、もしもの収入減少に備えて加入しました。
- **収入保険に加入した理由は?**  
妻と2人で農作業していますが、病気やけがで農作業できなくなった場合や、市場価格の低下など、もしもの収入減少に備えて加入しました。
- **保険料、積立金について**  
農業共済掛金は掛け捨てですが、収入保険の積立部分は、補てんに充てなかった場合に翌年に繰り越せ、解約時に返金される点がいいですね。
- **保険金を受け取ったことはありますか?**  
コロナ禍で、価格低下と出荷規制に見舞われ収入減少しましたが、加入していたおかげで助かりました。
- **収入保険の魅力は?**  
自然災害だけでなく、価格低下や病気、けがによる収入減少にも対応しているの、心強い保険です。
- **今後について**  
地域の農業を守りながら、堺市の使用許可を受け「堺のめくみ」として軟弱野菜を出荷しているので、これからも質の良いものを提供していきたいです。



堺市 東 孝さん(56歳)  
あづま たかし  
経営内容:軟弱野菜(コマツナ・ホウレンソウ)ハウス14棟30㎡

## 補償の範囲

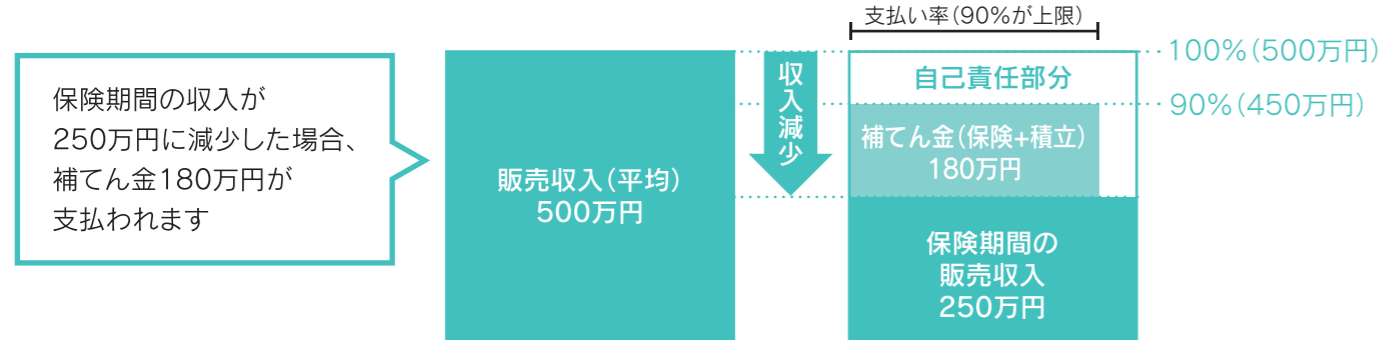
自然災害で減収	市場価格が下落	災害で作付不能	病気で収穫不能
倉庫の浸水被害	取引先の倒産	盗難や運搬中の事故	為替変動で大損

近年頻発している想定を上回る自然災害だけでなく、新型コロナウイルスの影響や、病気・けがで収穫が出来なかったり、農業者の努力だけでは避けられない収入減少を幅広く補償します。

## 保険料等と補償額(平均販売収入500万円の場合) ※国庫負担後

販売収入(平均)	保険料等(年間)	積立金(年間)	加入者合計負担額	最大補償額
5,000,000円	57,690円	112,500円	170,190円	4,050,000円 (500万円×90%×90%)

保険料等...50%を国が負担します。経費として計上できます。  
積立金...75%を国が負担します。使わなければ翌年に繰り越し、使わずに継続加入しなかった場合は全額返金します。  
最大補償額...平均販売収入の9割を下回った金額の9割を補償します。

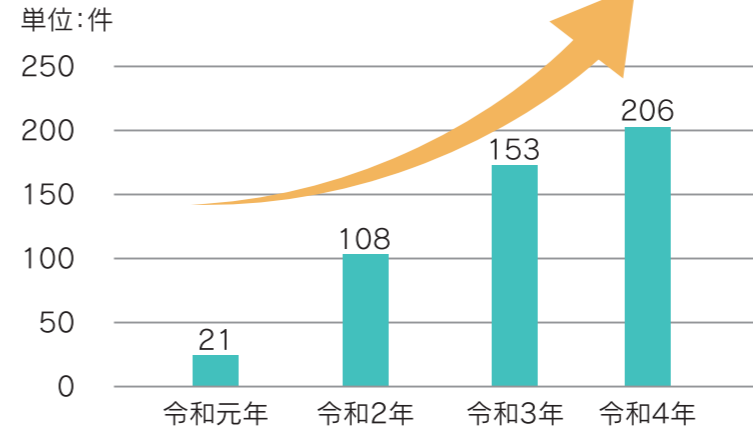


NOSAI大阪のホームページでは、収入保険ご加入時の保険料等を簡易的に計算することができます。

収入保険シミュレーションはこちらから▶



## 府内における加入者数の推移



収入保険は、自ら生産した農産物の販売収入全体を補償する公的な保険で、**青い申告の実績がある農業者**が加入できます。毎年さまざまな経営規模の方にご加入いただき、安心して営農していただいています。



収入保険制度

令和5年の加入申込が始まっています!!  
お気軽にご相談ください。

## 基準収入の規模別加入状況(令和4年分)

基準収入の範囲	経営体数	構成比(%)
100万円未満	57	28
100万円~500万円未満	52	25
500万円~1,000万円未満	34	17
1,000万円~2,000万円未満	36	17
2,000万円以上	27	13
計	206	100

## 保険金の支払実績(令和2年要因別)

要因	件数	支払額(円)	支払割合(%)
価格低下	24	26,196,000	70
病害	4	4,831,000	13
虫害	14	2,769,000	7
気象災害	12	2,385,000	6
加入者のけがや病気	4	1,599,000	4
計	58	37,780,000	100

- 令和2年は、108経営体の加入に対し40経営体に58件の要因が発生し保険金を支払いました。
- 主な要因は、新型コロナウイルスなどの影響による価格低下や販売収入の減少でした。また、加入者の病気やけがによる支払いもありました。

経営努力だけでは対応できないことでも収入保険なら手厚い補償があります。ぜひ加入をご検討ください!!





園芸施設共済

# 台風シーズン到来。備えは万全ですか？

共済加入で万が一に備えましょう!!



台風により被害を受けたハウス

近年、全国各地でこれまでに類を見ない規模の台風や集中豪雨などによって、園芸施設への大規模な被害が発生しています。  
大阪府内では、2018年の台風21号により甚大な被害が発生し、**357戸の加入者に対し約2億1,824万円**の共済金をお支払いしました。  
ハウスの倒壊による農業への損害は甚大です。  
万が一の備えに、園芸施設共済に加入しましょう。

## 補償の対象となる災害は



【その他】落雷・鳥獣害・車両の衝突・航空機の墜落・破裂・爆発・施設内農作物の病虫害  
※いたずらによる損害や被覆材の劣化による損傷は対象になりません。

## 掛金等の目安は (骨組みと被覆材の加入)

パイプハウス(外径19.1~25.4mm)

設置面積:200㎡(単棟) 被覆材:一般農PO 0.1mm 押え材:スプリング

設置年数	共済価額(時価額)	補償割合	共済金額(補償額)	掛金等
1年未満	952,372円	80%を選択	761,897円	11,527円
10年以上	587,372円	80%を選択	469,897円	7,109円

※補償割合は40・50・60・70・80%の中から選択できます。

※骨組み、被覆材は時価額になります。

国が掛金の半分を負担しています。(表内の掛金は国庫負担を除いています。)

## 共済金のお支払いは

1棟ごとの損害額が、加入者の選択した①から⑥の金額を超えた場合にお支払いします。

- ①1万円 ※追加特約(下記参照)
- ②3万円または共済価額(時価額)の5%のいずれか低い額
- ③10万円 ④20万円 ⑤50万円 ⑥100万円

選択金額が大きくなるほど掛金が安くなります。



## 特約の追加で補償をさらに手厚く出来ます!

- 特約1** 損害額が**1万円**を超える場合から補償!
- 特約2** 時価額の**最高100%**まで補償!
- 特約3** 復旧を条件に、新築時の資産価値の**最大80%**を補償  
特約2との併用で新築時の資産価値の**最大100%**まで補償可能に!(被覆材は補償対象外)  
※特約部分には国の掛金補助はありません。

# あなたの町の 共済支部長



くまづ 寝屋川市国松共済支部

おくの たかお **奥野 隆雄**さん(76歳)

- 共済支部長歴=15年
- 担当戸数=27戸
- 経営規模=水稲15㍎、野菜6㍎、タケノコ3㍎

私が担当する国松地区は、粘土質の赤土のため、タケノコ産地として有名でした。

しかし、新興住宅地などの開発により農地の減少が進み、同地区の農地で農業を行う農家は僅かとなりました。子供の頃から農業に携わってきたので、農地が減少するのは寂しく感じますが、減少する農地分は他府県で米作などを営んでおり、比較的若い人たちが支えられています。

2020年の水稲では、ウンカが大発生し、多くの農家が大打撃を受けました。私は損害評価員として被害状況の確認に奔

走しました。当地区でも被害が発生しましたが、注意喚起や防除などを行ったため、被害を最小限に抑えられました。

近年は、ジャンボタニシの発生が危惧されており、防除方法のチラシを精米所に貼って注意喚起するなど、未然防止に努めています。

近年のあらゆる災害に備えるためには、農業保険制度が重要だと考えています。安心して農業ができるように、これから

も農業保険の周知などNOSA AIと共に支部長の役割を果たしていきたいと思っています。



あおげ 河南町青崩共済支部

たにぐち まさてる **谷口 正輝**さん(64歳)

- 共済支部長歴=12年
- 担当戸数=23戸
- 経営規模=水稲13㍎

私が担当している河南町青崩支部は、金剛山と葛城山の間に位置しており、緑豊かな地域です。以前はミカンやホウレンソウなどの共同出荷が盛んでした。

農地の多くが山の中に位置するため、イノシシの被害が多発します。私自身、町の有害鳥獣対策協議会委員を務めている事もあり、イノシシ被害への対応に力を注いでいます。被害発生時には、NOSA AIと共に被害の確認に努めています。

被害に遭いやすい地域であるため、水稲共済を筆頭に農業保険の必要性を強く感じま

す。しかし支部内では販売を主としている農家はわずかで、農業保険へ関心を持つ人が少ないのが実情です。農業保険の必要性を理解してもらい、安心して営農できるように推進したいと考えています。

他の地域と同様に、農業者の高齢化に伴う後継者不足も課題です。近隣の幼稚園や大学との農業体験を通じた交流や、新規就農者の地区内の農地利用など、若い世代へ青崩地区での農業に関心を持ってもらう機会の創出を試みています。



## 生産性を上げる工夫を



豊中市  
はんだ ますひろ  
半田 益宏 さん

豊中市の大阪国際空港のほど近くでハウスの上空をジェット機がごう音とともに離着陸する様子から名付けた『半田ファームじえつ』とハウス母園を営む半田益宏さん(70)は、ミツバチが自然受粉するイチゴ「紅ほっぺ」約3400株を高設栽培する。

半田さんは、59歳の時に父の他界を機に、専業農家となり水稲の耕作を始めた。イチゴを始めたのは「白イチゴ開発者の話を聞く機会があり、米に代わる魅力を感じたから」と話す。

2021年1月から、府内のイチ

ゴ農家のもとへ通い、ノウハウを学んだ。6月にハウスが完成し、12月から販売を始めた。販売の8割を予約による直売が占め、残りはJAの直売所で販売する。「消費者からおいしかったよと言ってもらうことが嬉しいです」と笑顔で話す。

今後は「植え付け時期を変え、生産性を上げたい」と話し、「イチゴが終了した5月から棚の下で、1棟はスイカ、もう1棟はカボチャを栽培しハウスの有効活用を考えています」という半田さんは、現在もイチゴ農家の元へ通い学び続ける。

## 父の作業日誌を手本に



富田林市  
つかだ てつや  
塚田 哲也 さん

富田林市の塚田哲也さん(48)は、母親と従業員3名、パート8名とともにハウス26棟(約80坪)でナスとキュウリを栽培する。

塚田さんは会社員として勤めていたが、2年前に父が体調を崩したことから大阪に戻り、就農した。「いずれは継ぐのかな程度に考えていましたが、父が入院し、母だけに無理はさせられないの思

いからでした」と当時を振り返る。農作業は子供の頃から手伝っていたこともあり、「簡単な農作業はわかるが、水の管理や経営などは右も左もわからない状態だっ

た」と話す。父の作業日誌を、母と共に勉強中だという。

同市の板持地区はナスとキュウリの産地で、同じ品目を生産する農家が多い。「1人じゃないのが心強い。周りの先輩農家に教えてもらえることがたくさんあり、それが大きな助けになる」と塚田さんは話す。

「ハウス栽培もまだまだ勉強中です。特にキュウリはここ数年、病害に悩まされています。まずは今していることを、1年を通して『うまくいった』と言えるように頑張ることが当面の目標です」と塚田さんは前を向く。

# 大阪ファーマーズ

管内の身近な話題を紹介します。

## 循環農法でおいしい野菜を



能勢町  
なかい ゆうすけ まりこ  
中井 裕介 さん・真理子 さん

能勢町で水口農園を運営する中井裕介さん(34)と真理子さん(38)夫妻は、循環農法に取り組み季節野菜約40品目を露地80坪で栽培する。

裕介さんは非農家出身。自然に触れることが好きで、大学も農学部に進

み、「在学中に循環農法で栽培された野菜を食べ、おいしさに感動し、大分県と同農法を実施する農家に弟子入りした」と振り返る裕介さん。同県で真理子さんに出会い、結婚を期に真理子さんの実家のある能勢町に帰り就農した。

同農法で栽培する野菜は、生育はゆつくりだが、細胞が詰まっています。持ちもよくおいしいという。「友人に

送るとなかなか傷まないのが驚かれます」と真理子さんは笑う。

販売は宅配が主で、現在は約30戸の顧客がある。また、オーガニック野菜を取り扱う店からの販売依頼もあり販路を広げている。

「生産が安定すれば年間契約や地元物産センターへの出荷も考えています。まずはトライ・アンド・エラー、挑戦して、失敗を改善点として次に生かしていきたい」と話す2人は、さらに良質でおいしい野菜を作ることに向けている。

▽循環農法とは「化学肥料や農薬に頼らずに自然の生態系の範囲内で農業を回すことで虫や病気に強い極めて健康な作物を育てる農法

## 継ぎたいと思う経営を



泉佐野市  
おく はじめ  
奥 始 さん

「これまで収入減少の経験はないが、年齢的にも体調を崩したときを考え、安心のために加入にした」と収入保険への加入の経緯を話す泉佐野市の奥始さん(47)。

ネギ「緑宝葱」を2畝栽培する。2008年の就農当初は70坪だった経営規模を翌年には、現在の面積にまで拡大させた。年間100トを出荷目標に、全量を「ユーツ(株)」に出荷する。

就農前まで農機メーカーで営業職として勤務していた奥さん。「いろんな農家と接するうちに、農業はおもしろいと感じるようになった」と笑う。若いうちの方が収穫量を増やせると考え

30代で就農した。近所の人にネギ栽培を勧められ、泉南市のネギ農家を紹介してもらい師事することになった。

奥さん自身の栽培をしつつ指導を受けるスタイルは現在も続く。「儲かる農家でない」と続ける意味ないし、続けられへん」と師匠に言われたと振り返る。同年代の人たちが実際に奥さんの経営を見て、「これなら生活できる」と思い、新規就農者が増えたという。

今後について「生計が成り立つ農家であれば後継者が育つ」とし、「農業を継ぎたいと思ってもらえる姿を3人の子供たちに見せたい」と奥さんは前を向く。



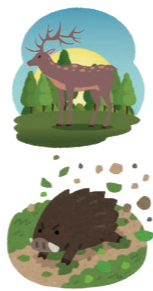
# 有害鳥獣損害防止事業のお知らせ

水稲共済または果樹共済加入組合員の農作物被害を防止・軽減するための柵・装置などの資材費の一部を助成します。

## 助成金の交付対象

水稲共済または果樹共済(うんしゅうみかん・ぶどう・くり)に加入している圃場や樹園地をイノシシやシカなど有害鳥獣からの被害を防止するため、令和4年度または令和3年度産の収穫後に購入し設置した柵・装置(イノシシ・シカネットや鳥よけの防鳥網などは対象外)の資材費が対象です。

- 個人の場合・・・設置に要した資材費の2割を助成(最高30,000円)
- 団体の場合・・・設置に要した資材費の2割を助成(最高100,000円)



## 助成金の対象条件

- 施設の設置者が個人である場合、設置場所は本人が加入している共済目的(水田及びうんしゅうみかん園・ぶどう園・くり園)で、今後も営農の継続が確実と見込まれること。
- 施設の設置者が団体である場合、原則として組合員複数以上の受益がある隣接する一団となった土地で、今後も営農の継続が確実と見込まれること。
- 以前に本事業で申請を行った圃場等については、追加購入資材であっても申請から5年間は申請できません。
- 詳しくは最寄りのNOSAIまでお問い合わせください。

## 交付申請書の提出期限

令和4年10月31日(うんしゅうみかんは12月29日)まで!

# NOSAIからのお知らせ

- 共済掛金を支部とりまとめによる加入の場合や現金・振込により納入された場合の「確認通知書」(はがき様式)について

**確認通知書**

大阪府農業共済組合長 様

加入内容について、下記のとおり確認しましたので通知します。

氏名 農 済 太 郎		
加入確認内容		
共済の種類	掛金等(賦課金含む)	
	納入年月日	納入額
建物共済	令和4年5月10日	10,000円
確認欄	( )正しい	該当する確認結果のところ に○印を付し 確認日を記入 ください。
	( )誤り	
	( )未加入	
確認日：令和 年 月 日		
4年〇月分-〇〇共済(〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇〇〇〇〇)		

※ 当てはまる確認結果に○をつけて、確認日を記入して下さい。  
 ※ 氏名が隠れるように個人情報保護シールを貼って投函ください。  
 ※ ご不明な点がございましたらお問い合わせください。  
 ※ お手数ですが、〇月〇日までに返送をお願いいたします。

問い合わせ先 大阪府農業共済組合 総務課  
TEL06-6941-8736

氏名を確認されましたら、共済の種類、掛金等納入年月日、納入額が合致するかを確認してください。

該当する確認結果のところ  
に○印を付し  
確認日を記入  
ください。

点線箇所に個人情報保護シールを貼付してポストへ投函ください。

共済掛金については、引受に携わる役員等が加入者の同意を得ず虚偽の引受を行うことを防止するため、掛金を個人口座振替以外の支部とりまとめによる加入の場合や、現金及び振込により受領した場合には、直接組合員へ「確認通知書(はがき様式)」を送付し、その加入内容を確認するよう行政指導を受けております。

加入確認通知書が届いたときには、加入内容を確認し、期日までに同封はがきを返送いただきますようお願いいたします。



## 農業共済新聞 購読者募集中

農業共済制度と収入保険制度を詳しく解説  
 2カ月間無料試し読みキャンペーンも実施しております。



申込みやお問い合わせは  
 NOSAI大阪本所まで(TEL:06-6941-8736)  
 購読料：年間 5,520円  
 毎週水曜日(月4回)ご自宅にお届けします

## 口座振替のお願いについて

農業共済引受事務の適正化と効率化を図るため、農業共済事業に加入いただく際の共済掛金の納入方法は、口座振替による納入をお願いしております。現金による掛金納入には、紛失などをはじめとして様々なリスクが考えられることから口座振替への移行手続きにご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。



## 旬の野菜を使った お手軽おもてなしメニュー

今回はゴーヤ



## ゴーヤとヒジキの炒め物

- 材料 [4人分]
- ゴーヤ……………1本
  - パプリカ……………1/2個
  - ヒジキ(乾燥)……………10g
- 【調味料】
- 炒りごま …… 大さじ1程度
  - 塩 …………… 小さじ1/4
  - 醤油 …………… 小さじ1
  - ごま油 …………… 大さじ1

- 作り方
- ①ゴーヤはヘタとワタを取り、薄い半月切りにします。パプリカもヘタと種を取り、ゴーヤと同様に切ります。ヒジキは水で戻します。
  - ②熱したフライパンにごま油を入れてゴーヤとヒジキをサッと炒めます。ゴーヤの色が鮮やかになったら、パプリカを加えて、塩と醤油で味を調えます。
  - ③火を止めて、器に盛り付けて、炒りごまをふって出来上がりです。

